

令和4年第2回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	8	早坂 憂	<p>1 SNSをさらに活用した大崎市の情報発信政策について</p> <p>(1) SNSを活用した情報発信についての基本的な考え方は</p> <p>ア SNSの活用を始めたきっかけと、メインターゲットについての考えを伺う</p> <p>イ 現在、SNSへの投稿を行う際の流れは、どのようになっているのか伺う</p> <p>ウ 利用しているSNSと利用していないSNSについての考え方を伺う</p> <p>(2) 現在までの投稿について</p> <p>ア これまでSNSを活用した投稿により、どんな効果があったのか。振り返りや分析は行われているのか伺う</p> <p>イ 市民からどんな反応があるのか伺う</p> <p>ウ 現在の投稿はリンクのみで文章がなく、写真もたまたましか使われていない。毎回文章や写真を投稿できないのか伺う</p> <p>(3) SNSを活用した情報発信を専門とする部署の創設について</p> <p>ア 現在行われているスタンダードな情報発信とは別に、大崎市の魅力を発信したり、より詳しいイベント情報やレポート、移住、定住につながるような情報提供など、シティプロモーションと併せて専門的に行う部署が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(4) 市の施設を管理運営している指定管理者の情報発信支援について</p> <p>ア 市に代わって様々な工夫を凝らしながら施設の管理運営をしていただいている指定管理者だが、情報発信で苦勞している現状がある。市として支援すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>イ 情報発信系コンサルタントと契約し、一律で支援を行ってはどうか。ノウハウも蓄積できて人財育成にもつながり、費用対効果も大きいと考えるが、所見を伺う</p>
2	2	小嶋匡晴	<p>1 新型コロナ対策支援について</p> <p>(1) 大崎市医師会休日当番医との連携について</p> <p>2 鳴子温泉地域の小学校統合について</p> <p>(1) 統合合同検討委員会から準備委員会へ移行するに当たり、現状と今後の方針について</p> <p>(2) 小学校統合と鳴子中学校への小中一貫校導入についての所見を伺う</p> <p>(3) 統合に向けて、今後の地域住民への詳細な説明とハード面、ソフト面の課題について</p> <p>3 鳴子温泉の観光戦略について</p> <p>(1) 鳴子温泉の現状と今後の施策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	18	横山悦子	<p>(2) 新たな滞留型観光施設の創設について (3) 既存の施設整備計画との連携について</p> <p>1 コロナ禍における原油価格、物価高騰等から市民の生活を守る経済対策について (1) 本県には、地方創生臨時交付金の交付限度額として約 135 億円が示されているが、本市への交付額について (2) 生活困窮者、年金生活者、世帯所得 200 万円以下等を給付対象とするなど、対象の拡大や給付額の上乗せについて (3) 少子化対策、子ども出産祝い金として 30 万円の給付金支給をすることについて (4) 中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援（無利子）をさらに拡充するとともに燃料価格の抑制対策や飼料、肥料の購入支援等について (5) こどもみらい住宅支援事業に係る本市の独自支援について</p> <p>2 中心市街地復興まちづくりについて (1) 市中心部七日町に地域交流センター、マンション棟等中心市街地に再開発事業の完成式典を迎えたが、コロナ禍で疲弊した中心市街地の活性化、未来に向けた道筋をこれからどのようにつくろうとしているのか (2) オープン記念行事にはどのような仕掛けをしたのか。今後ロビーコンサートや七夕祭り、醸室と連携して多くの市民に足を運んでもらう仕掛けについての考えについて</p> <p>3 JR古川駅前の空洞化について (1) 若手職員によるワーキンググループが発足しているが、今後の利用策の内容、状況について (2) 本市の特産品（酒、こけし、米等）、土産品、ロイズ商品等の販売について</p> <p>4 陸羽東線塚目駅移転整備計画について (1) 常任委員会資料に令和 2 年 1 月の庁議にて、移転方針の意思決定から 1 年後にスケジュール変更とあるが、その理由について (2) 市民の要望の声を聞き、どのように理解を得て対応するのか (3) 現塚目駅整備の方向性、公衆用トイレ、駐輪場の屋根設置と整地、自転車スタンド設置等の施設整備について</p> <p>5 法改正による所有者不明土地への対応について (1) 瓦礫や樹木が放置された土地について、市は所有者に必要な助言や指導を行うことができ、その上で所有者が見つからない場合、市が行政代執行で撤去可能となるが、市の現状、市民からの苦情件数について把握しているのか (2) 法改正によって本市はどう変わるのか</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	9	伊勢健一	<p>1 コロナ禍における原油価格高騰や飼料や肥料高騰対策について</p> <p>(1) 原油価格高騰対策として、バス事業者やトラック業界などへの支援についての考えは</p> <p>(2) 化学肥料や配合飼料の価格高騰などへの支援の考えは</p> <p>2 学校跡地の利活用について</p> <p>(1) 学校跡地の管理の現状と地域での利用状況について</p> <p>(2) 学校跡地の利活用に向けた検討や地域との意見交換の現状について</p> <p>(3) 閉校した真山小学校跡地へのジビエ食肉処理加工施設及び減容化施設整備に向けた地域などとの意見交換の現状について</p> <p>3 教育について</p> <p>(1) 中学校部活動の地域移行に向けた準備体制について</p> <p>(2) 統合小学校における地域教育，地域との協働教育の現状について</p> <p>(3) 学校施設開放における暖房等の使用についての検討状況について</p>
5	16	鎌内つぎ子	<p>1 公立病院経営強化プランについて</p> <p>(1) 前ガイドラインとの違いについて</p> <p>(2) 機能分化，連携強化について</p> <p>(3) 医師，看護師等の確保と働き方改革について</p> <p>(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組内容について</p> <p>2 公共交通，バス路線の見直しについて</p> <p>(1) 公共交通，バス路線を広げることについて</p> <p>(2) 停留所の見直しについて</p> <p>(3) 停留所の時刻表について</p> <p>(4) 公共交通，バス路線が走行する道路整備について</p> <p>3 学校の環境整備について</p> <p>(1) 古川第三小学校の駐車場整備について</p>
6	24	木内知子	<p>1 学校給食費の無償化実現について</p> <p>(1) 学校給食は義務教育の一環であるという観点に加えて，保護者負担の軽減という子育て支援の観点からも，本来，国の責任で無償化を実現すべきと考える。市として，国へ無償化の働きかけを行うべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 国の無償化の方針が決定されるまで，段階的に市独自の支援はできないか</p> <p>2 高齢者への補聴器購入支援について</p> <p>(1) 「難聴は認知症の大きなリスク因子」との指摘がある中で，高齢者の皆さんの安心・安全な生活を保障するために，補聴器購入助成支援を考えるべきではないか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	23	氏家善男	<p>(2) 障害者日常生活用具給付等事業の見直しなどで、支援の拡大はできないか</p> <p>3 補助教員の増員について</p> <p>(1) 学校現場では、多様な児童生徒への対応に苦慮している。行き届いた教育実現のために、補助教員の増員を図るべきではないか。多動症の児童生徒への補助体制は整っているのか</p> <p>1 水田農業構造改革事業（転作）について</p> <p>(1) 食用米の減産による転作状況とさらなる転換拡大の見通し</p> <p>(2) 高騰する飼料作物（トウモロコシ）への転換誘導について</p> <p>(3) 肥料の確保と高騰対策について</p> <p>2 水田活用交付金事業について</p> <p>(1) 農水省が打ち出した5年に一度も米を作付しない農地への交付金について本年度の対応は</p> <p>(2) 基準となる年度の設定は</p> <p>(3) 排水が悪く湿潤地が多い本市の農地にあって5年に一度の米の作付は転作作物の生育に障害となる。制度の見直しについての農水省への働きかけについて</p> <p>3 ジビエ処理加工等施設整備事業について</p> <p>(1) 旧真山小跡地への整備であるが、地元住民との説明会での意見は</p> <p>(2) 来年稼働に向け運営体制の検討状況について</p> <p>(3) 豚熱、放射能検査体制について</p> <p>(4) 加工した肉の販路、流通について</p> <p>4 解体方針の岩出山S Lについて</p> <p>(1) 岩出山城山S L有志の会の要望書について</p> <p>(2) J Rの見解について</p> <p>(3) 今後の対応と方針見直しについての考えについて</p> <p>5 市道南山線について</p> <p>(1) 地元から南山線の舗装工事の要望が強いが、現況と図面と差異が感じられる。境界線は確定しているのか</p> <p>(2) 指定障害者支援施設、大崎太陽の村に隣接する道路であり早期の改良舗装の方針について</p>	
8	10	鹿野良太	<p>1 市長公約「デジタル田園都市」へのチャレンジについて</p> <p>(1) 伊藤市長5期目の目玉公約であるデジタル田園都市。本市が目指すデジタル田園都市のあるべき姿を伺う</p> <p>(2) 今回の改選を踏まえ、デジタル田園都市へのチャレンジに対する市民の受け止めについて所見を伺う</p> <p>(3) デジタル田園都市へのチャレンジの中で、SDGs 未来都市認定の意味と今後の展開を伺う</p> <p>2 「無謬性神話」からの脱却とアジャイル（機敏）型の政策立案、改善手法の導入について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(1) 大崎市の行政運営の中で、いわゆる「無謬性神話」に陥っているケースはないか、所見を伺う</p> <p>(2) DX推進における、アジャイル型の政策立案、改善手法の有効性に対する所見を伺う</p> <p>(3) デジタル田園都市へのチャレンジに当たり、アジャイル型の政策立案、改善手法の導入をすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 古川飯川を流れる旧渋川の水害対策と橋梁改修について</p> <p>(1) 旧渋川は新渋川合流点付近で近年2度破堤しており合流点に水門設置を求める声がある。住民の安心・安全のため、県と連携して水害対策に取り組む必要があるが、所見を伺う</p> <p>(2) 堤防補強と河道掘削の必要性を伺う</p> <p>(3) 旧渋川には、橋梁点検対象外の橋梁が複数あるが、住民の生活には欠かせない橋であり、安全の確保のため、点検対象にすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 大崎市初の義務教育学校「古川西小中学校」開校に向けた準備状況について</p> <p>(1) 増築及び外構工事の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 統合準備委員会や各部会は”結論ありき”の話し合いになっていないか、所見を伺う</p> <p>(3) 義務教育学校という学校教育制度の特色以外に、どのような特色を持った学校として開校するのか伺う</p>
9	6	法華栄喜	<p>1 持続可能な地域づくりと地域活性化について</p> <p>(1) 地域づくりの現状と課題について伺う</p> <p>(2) 地域の活力を上げるには活動拠点となる「ひろば」の果たす役割が大きいと考えるが、市の所見を伺う</p> <p>(3) 地域振興拠点施設のあり方検討会議の報告を踏まえた、その後の進捗状況について伺う</p> <p>2 文化関連施設のビジョンについて</p> <p>(1) 各施設の現状と拡充整備等の考えについて伺う</p> <p>(2) 13万都市として誇れる音楽ホールや美術館等が必要だと考えるが、将来ビジョンについて伺う</p> <p>3 リニューアルした「ふるさと歴史館」について</p> <p>(1) 松山ふるさと歴史館が地域に果たす役割について伺う</p> <p>(2) 学芸員の高い専門性を発揮するための体制や支援制度は十分に整っているか伺う</p>
10	26	佐藤 勝	<p>1 市長は公約に拠点施設の整備を、『未来を担うひと・地域・田園都市の創生～挑む』とし、後期総合計画も『地域コミュニティの再生と地域の拠点づくり』を重点プロジェクトとした。関係住民として大きな期待感を持ちつつ、大成させたいが、その筋道と伊藤市政の本気度を質したい</p> <p>(1) 地域振興拠点施設のあり方報告書（令和2年12月）</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>を引き継いでこの一年半、伊藤市長は担当部署からどのような報告を受け、どう協議しこれら事業化への手法、流れ、場所、運営形態等をどう描いているか。第3回庁内検討会議（4月27日）で供用開始の目標年度なども検討をしているのか。していないとすれば、ここ4から5年間に基本計画に着手できればと考えているのか</p> <p>(2) 5月30日の常任委員会、建設部の主要事業で「地域振興拠点整備推進支援事業」とし、「地域住民の関与及び主体性確保のための意識を醸成するための支援を行う。」と明記しているが、事業支援とは、間接的な関与であり民設民営方式でと示唆をしているようだが、公共の責任としての戦略立案はどう考えているのか</p> <p>(3) 昨年12月、北の玄関口エリアの宮沢、清滝、長岡、富永、田尻、沼部、大貫地区の委員会役員とどのような意見交換をし、農業関係団体等との協議はどう進み、総じてどう分析し、検証しているか。本年度も事業内容は昨年と同様だが、判断するタイミングとまとめる時期は</p> <p>(4) 関係住民の機運が高まり、自らの主体的な責任感も整備の条件としてはもちろんだが、それが整うまで事業化はできない、あるいは待つということなのか。公約と後期総合計画で決めたからこそ、市は今、実施計画を読まなければならぬ時期と思う。 住民参画が自らの地域を豊かにする市民協働で、地域で見つけ出す意見交換や視察をしてこそ意識の醸成が進む。また、近未来的な大崎市の振興施設の第2ステージの企画を出し惜しみすることなく、それらをツールとした協働と醸成、事業内容に一工夫できないか</p> <p>(5) 守る・創る・挑むが5期目のマニフェストでありながら、行政のスピード感と主体性が不足しているように思う。建設部にはこれまでの労を多とし、今後所管する部署を総合的に連携できる産業経済部に移行することが、事業化への近道と発言し続けている私の行動に市長はしかるべき時期にはと答弁されているが、それは今ではないか</p> <p>(6) 北の玄関口エリアの拠点施設整備は4年の経緯があるが、工業団地整備計画は地方創生総合戦略でも計画倒れ、整備した三本木地域の小規模団地もしかり。社会動向を引いても市の企業誘致は遅れを取っている事実と、農村地域工業等導入促進法の改正で一日25,000台も通過する国道4号沿いのあの場所に、サービス業も良とし4年間の活動を展開している事実をどう受け止めているか</p> <p>(7) 候補地として新鶴巻地内の工業団地内を最適とする場合、国交省は国道4号の4車線化の事業化にむけ白</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
11	3	小玉仁志	<p>石南と古川北（荒谷～高清水）が動き出した。ルート の概略設計プロポーザルを広告し、今月に委託業者が 決定した。団地内の用途計画についても急ぐ必要があ り、市長の基本的な構えと道筋は決めていると察する が、公約と総合計画の両面からしても、今ここで公表 するのが 20 年間為政者として市のトップに立つ大き な責務であろうと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 「誇りある農業の振興」実現に向けた農業担い手不足 の対策について (1) 総合計画後期基本計画第 4 章第 1 節第 1 項に係る新 規就農総合支援事業について、農業における担い手不 足の解消が急務の中、令和 2 年度は 20 人に農業次世 代人材投資資金を交付支援した実績があるが、前回の 報告以降、継続して実施されている本事業の現在まで の定量的な経過と定性的な要因について伺う (2) 前回の報告で課題、問題点における就農相談の増加 対応に対する改善状況を伺う。また、青年の新規就農 者を増やすための対策として取り組むべき新たな課 題及び施策は考えているか伺う</p> <p>2 DX 推進に関する具体的な取組について (1) 各種業界や社会全体がデジタルの活用に地域の好循 環機会を見いだす中、大崎市が凸版印刷株式会社やソ フトバンク株式会社との連携協定の締結を実現した ことは大きな成果と感じている。 その中の具体的な取組について、地域の事業者や市 民、または行政業務など、何をどのように、変化、加 速させるのか内容を伺う</p> <p>3 陸羽東線塚目駅移転整備計画について (1) 塚目駅移転整備について当初想定した移転整備計画 が見込めない状況と聞いているが、それに伴う地域住 民や事業者等関係者への十分な説明並びに計画はあ るか伺う</p>
12	15	相澤久義	<p>1 社会体育施設の備品（卓球台）状況と施設改修につい て (1) 体育施設の備品更新の考えを伺う (2) 社会体育施設大規模改修計画について伺う</p> <p>2 障がい者の親亡き後の支援体制について (1) 近年、障害児者施設が増え親、家族が安心して暮ら せるようになったと思うが、先日、障害者施設を対象 とした「第 3 回手をつなぐみんなの作品展」を開催し た。ある高齢（80 代後半、障害のある子供と 2 人暮 らし）の親から切実な話があった。親亡き後の子供の （50 代）生活、居場所のことであった。このような 家庭の相談窓口、対応、支援体制についての考えを伺 う</p> <p>3 化学物質過敏症（香害）について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	4	山田匡身	<p>(1) 3月末に化学物質過敏症に苦しむ方から手紙を頂いた。手紙を見て、化学物質過敏症のことを詳しく知ることができたが、以下のことについて伺う</p> <p>ア 化学物質過敏症に苦しむ市民を把握しているのか</p> <p>イ 市内の児童生徒への調査等を行っているのか。また、何人いるのか。どのように対応しているのか</p> <p>ウ 市民病院等で診療科目はあるか</p> <p>1 教育行政について</p> <p>(1) 物価高騰により学校給食費の値上げが懸念されるが、どう対応しているのか</p> <p>(2) 学校給食の栄養バランスは保たれているのか</p> <p>(3) 大崎市内小学校のクラブ活動の支援について</p> <p>2 緊急時の生活水の対応について</p> <p>(1) 緊急事に市内の井戸水、湧き水が活用されたケースはあるのか</p> <p>(2) 給水車から各地区の積載給水タンクに給水できるようにすることについて</p> <p>(3) 住民とのコミュニケーションの推進による被災時の対応力の強化について</p> <p>3 大崎市の内水対策について</p> <p>(1) 近年、自然災害が頻発しており、台風、集中豪雨などにより、内水氾濫が市内各地で起きている。そこで姥ヶ沢地区に排水ポンプを新設したが、令和元年東日本台風クラスの降雨でも市街地の冠水被害は大丈夫なのか</p> <p>(2) 二線堤バイパス東側の雨水は、鳴瀬川に排水することで大幅に内水問題の解決につながると考えるが、どのような所見を持っているのか伺う</p> <p>(3) 気象庁では6月1日から線状降水帯予測を開始するが、本市として市民にどう周知するのか伺う</p>
14	1	藤本勘寿	<p>1 大崎市の財政、市の資産の民間開放について</p> <p>(1) 市場公募型地方債について、大崎市での発行の必要性、実現可能性について所見を伺う</p> <p>(2) 各種基金の運用高度化について、今後の展望を伺う</p> <p>(3) 大崎市古川北町にある大崎市中央公民館跡地、旧古川消防署跡地の利用方針と、大崎市シルバー人材センターの移転、建て替え等の検討状況を伺う</p> <p>2 産業振興について</p> <p>(1) コロナ支援、創業支援制度の周知と、今秋の「宝の都（くに）・大崎」プレミアム電子商品券の周知のためにも、地元金融機関、商工会議所との一層の連携が必要と考えるが、現状の連携体制について伺う</p> <p>(2) 東北大学農学部や宮城県古川農業試験場との連携、日本各地の世界農業遺産認定都市同士の姉妹都市の締結を進めるべきと考えるが、今後の展望を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	19	遊佐辰雄	<p>1 巨大風力発電事業計画について</p> <p>(1) いくら再生可能エネルギーでも、自然景観や環境破壊を伴う風力発電やメガソーラー発電は中止、見直しをさせるべきではないのか。5月22日、やくらい文化センターで開催された「東北の山の今と未来を考える」としたシンポジウムに市長の代理で環境保全課長が出席したが、あの集会は正に風力発電計画の反対、中止の集会だった。市長も風力発電計画の中止を求める意思表示と受け止めたが、それでいいか</p> <p>(2) 世界農業遺産の認定地において、水源地への影響、土砂災害の危険性が指摘され、低周波や騒音、放射能等による健康被害が心配される。よって、多くの市民が中止の声を上げている。市長は加美町、栗原市、色麻町の関係地域の協議会をもって、対応すべきではないか</p> <p>2 国保税の引下げについて</p> <p>(1) 18歳以下の子どもの均等割をなくして、さらなる引下げをすべきではないか</p> <p>(2) コロナ禍や米価暴落等で収入が減少しているが、所得割、平等割も含めさらなる引下げをすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 除雪対策について</p> <p>(1) 高齢世帯や障害者世帯等の除雪は、自分ではできかねており、市で支援していかないと生活ができなくなり、雪の多い農山村はますます過疎化が進んでしまう。現在、除雪を行っている業者に除雪途中や、公道の除雪終了後にそれらの世帯の除雪を依頼したらよいのではないかと、所見を伺う</p> <p>4 鳴子温泉の観光誘客政策について</p> <p>(1) 花溯山等の登山道の整備、花溯山のリフト、ゴンドラの再活用について</p> <p>(2) 新たな観光施策として、以前検討された漆器会館の構想について伺う</p>
16	25	小沢和悦	<p>1 危機的な人口の減少傾向に立ち向かう姿勢と具体的対策について</p> <p>(1) 市長は、人口減少傾向を変えたいとの決意をお持ちか</p> <p>(2) 結婚しても、収入が少なく、生活していく自信、子どもを産み育て、教育を受けさせる自信がないという若者が多いという認識はお持ちか</p> <p>(3) 市長は、若者が暮らせる収入が得られるようにする対策、子育てへの負担軽減を、政治の責任で解決する決意をお持ちか</p> <p>(4) 若者の大崎市への定住、移住、地元への就職の促進を図るため、新規就業者等の奨学金返還の一部を5年ほど補助する「奨学金返還支援事業」を始めてはいいか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(5) 立憲主義の大原則と学校給食法第 11 条の規定に対する市長、教育長の見解を伺う</p> <p>2 大崎市の生活保護行政について</p> <p>(1) 生活保護基準以下で暮らしている市民に対する保護の補足率の現状認識。対象者が、ためらわず保護申請を行えるようにする努力について</p> <p>(2) 補足率向上のための民生委員にお願いしていることはあるのか。民生委員には、活動にかかる費用が支給されているのか</p> <p>(3) 「生活保護の要件」、「相談と申請」を示している大崎市の説明書に問題はないか。正確で分かりやすい手引書を作成、配布することはできないか。</p> <p>(4) 「必要即応の原則」等重要なことは担当職員全員が認識して仕事にあたるようにしているか。(専門的職員養成と研修)</p> <p>また、相談件数と保護件数の推移、職員の受け持ち件数の推移(人的体制)について</p> <p>(5) 第三者による検証委員会について</p> <p>3 三本木パークゴルフ場改善工事の目標と施工業者との合意内容について</p> <p>(1) 市議会の附帯決議を施工業者は認識の上で工事に当たっているか</p> <p>(2) 不評を買うようなことになれば、市長も、施工業者も相当な責任を取らなければならないことになると思うがどうか。そういう構えでこの改善工事に当たっているか</p>
17	22	後藤錦信	<p>1 伊藤市長 5 期目の市政運営について</p> <p>(1) 4 期 16 年の振り返りと大崎市 20 年に向けて、均衡ある地域活性化への取組について</p> <p>2 地域コミュニティの再生と拠点施設の整備について</p> <p>(1) 急激に人口減少、少子高齢化、過疎化が進む大崎市の最上流鬼首エリアの再生と拠点施設の整備について</p> <p>(2) 地域課題等、現場で実践する地域おこし協力隊の活用について</p> <p>(3) 市職員の地域活動を支援する取組について</p> <p>3 未来を担う人材育成について</p> <p>(1) (仮称) 宝の都(くに)おおさき創生塾の具体像について</p> <p>4 訪れたい観光の振興について</p> <p>(1) 土木遺産鳴子ダムから発信する観光の取組について</p>
18	13	佐藤弘樹	<p>1 職員人財育成について</p> <p>(1) 市民協働の理念は浸透しているか</p> <p>(2) 政策提言及び課題解決能力を高める取組</p> <p>2 空き家対策について</p> <p>(1) 関連施策の活用状況</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	17	木村和彦	(2) 移住、定住促進に向けた市独自の取組 3 新型コロナ対策について (1) これまでの関連施策及び予算の効果と検証 (2) 市民生活回復と経済活性化の二兎を追う対策か 4 教育行政について (1) 総合運動公園整備促進における進捗状況 (2) 不登校特例校設置への考えは (3) オンライン学習の取組状況 1 化女沼公園の整備について (1) 新たな遊具の整備 (2) 県の公園構想の進展と大崎市の関わり (3) 拠点施設整備と既存施設の連携 2 子育て支援、少子化対策と医療費補助について (1) 妊産婦に対する医療に減免制度の創設 (2) 宮城県の出生率、大崎市出生率の比較と対応
20	12	八木吉夫	1 人口減少対策、子育て支援の拡充について (1) 妊娠、出産時の祝い金創設について伺う 2 再生可能エネルギーの活用促進について (1) 太陽光、小水力、小型風力発電の推進による脱炭素社会への対応と光熱費のコスト削減につながる設備投資の支援強化について伺う 3 水害被害の防止について (1) 常襲冠水地区の排水路整備の早期完成、田んぼ貯留池、地下貯留槽等の状況について伺う 4 入札制度について (1) 地元企業の育成優先は守られているか (2) 応札が1社でも入札は可能か (3) 宮城県知事選挙ポスター掲示場設置撤去業務執行は、適切に行われたのか (4) リース契約が大崎市仕様になっているのはなぜか
21	11	佐藤仁一郎	1 世界農業遺産の農業、農地と集落をいかに守るか (1) 基幹産業の農業や集落をいかに維持するか伺う ア 新規就農者の招致策について伺う イ 若い担い手の確保育成策について伺う ウ 新たな経営体の奨励について伺う エ 栽培技術の研究改良について伺う 2 治水対策の進捗状況と促進策について (1) 本流の越水、破堤、逆流を何としても防ぎたいが、治水計画、鳴瀬川ダム建設、堤体計画高補強工事、河道掘削計画、遊水池工事等の進捗状況の把握と国等関係機関への働きかけについて伺う
22	21	富田文志	1 自然環境保護と再生可能エネルギーの調和について (1) 山林の役割、現状と課題について ア 山林の樹木伐採が進んでいるように見受けられる

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
23	20	只野直悦	<p>が、大崎市の山林と伐採の現状を伺う</p> <p>イ 山林保護の望ましい姿と整備の意義について伺う</p> <p>ウ カーボンニュートラルへの大崎市の取組と今後の方向性について伺う</p> <p>(2) 里山の現状と課題について</p> <p>ア 生物多様性を守ってきた里山の現状を伺う</p> <p>イ 里山が自然災害の緩和に果たしてきた役割について伺う</p> <p>ウ 人口減少や高齢化、生活様式の変化等による里山の放置が自然環境破壊につながっていないか伺う</p> <p>エ 野生動物から食害を守るための現状と課題について伺う</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの現状と課題について</p> <p>ア 東日本大震災以降再生可能エネルギーが脚光を浴び、大崎市においても太陽光発電設備の設置が進められているが、設置の現状と課題について伺う</p> <p>イ 大崎市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例が制定されて1年が経過しているが、届出状況やそれに伴う対応状況など現状を伺う</p> <p>ウ 地域住民の設置に伴う不安を取り除くために、どのような点に配慮して調和を進めていくのか。市の目指す効果など今後の課題について伺う</p> <p>1 流域治水の推進について</p> <p>(1) 化女沼ダムの治水機能の強化について</p> <p>ア 貯水機能強化のための協議状況は</p> <p>(2) 田尻川改修事業の推進について</p> <p>ア 逆流止め水門完成後の佐賀川、田尻川の安全度についてどのように捉えているか</p> <p>イ 田尻川部会の早期開催を</p> <p>2 安心・安全な上水道の整備について</p> <p>(1) 非常時における上水道の整備</p> <p>ア 田尻地域への連絡管整備の効果とさらなるバックアップ体制の整備について</p> <p>3 人口減少対策について</p> <p>(1) 本市の人口減少対策について</p> <p>ア 本市の婚活支援事業の現状と重点プロジェクトとしての意気込みは</p> <p>イ みやぎ結婚支援センター「みやマリ」の出張登録会などとの連携強化について</p> <p>4 健康づくりの推進について</p> <p>(1) 本市における健康寿命の延伸について</p> <p>ア 地域で支え合い健康で元気なまちづくりの現状と課題について</p> <p>イ 地域資源である市内パークゴルフ場の活用推進について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
24	14	中鉢和三郎	<p>1 アフターコロナの観光戦略について</p> <p>(1) 6月7日時点の国内の新型コロナウイルス感染症の状況は、全国の1日当たりの新規感染報告が17,039人、宮城県内は264人(大崎市内4人)と減少傾向が続き、コロナ終息に近づきつつあるように思える。しかし、油断は禁物であり、新たなウイルスの変異への警戒もまだまだ必要なことは議論を待たない。しかし、そろそろアフターコロナの出口戦略を議論すべき時期になってきたのではないかと。特に、この間大きな打撃を受けた観光業の復活、V時回復に向けた戦略立案が求められる。国内旅行はもとよりインバウンドにいかに対応するか、地域間競争にいかにか勝ち抜くか等、考えるべき課題は多い。事業者個々の経営努力が大切なことは言うまでもないが、行政が果たすべき役割も大きい。大崎市のアフターコロナの観光戦略をいかに構築するか、所見を伺う</p> <p>2 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) 本市ウェブサイトにて、5月25日に予防接種法が改正施行され、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の内容が定められた。このページでは現時点での情報についてお知らせし、詳細が決まり次第掲載内容を更新するとの内容である。4回目接種は、3回目までとは大きく異なり接種対象者が限定的である。マスコミ報道では、医療従事者や高齢者福祉施設の職員といったいわゆるエッセンシャルワーカーへの優先接種の措置がなく、そうした方々から不安の声が出ている。接種の必要がないのであれば、丁寧な説明が必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>また、本市の4回目接種開始時期が、県内35市町村の中では遅い部類に入るが、その理由と開始時期設定の根拠を伺う。</p> <p>一方、3回目接種済みは、6月6日時点、40歳未満で50%を下回っている。さらなる接種勧奨策が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>3 幼児ことばの教室について</p> <p>(1) 平成26年第4回定例会において、同様の質問をした。その際の答弁では、市内に「幼児ことばの教室」は設置してはいないが、「就学相談の一環として、関係諸機関からの申出や保護者からの要望があった場合、設置校の学区の担当者が可能な範囲で相談や支援を行ってはおります」、「相談があれば相談にも乗りますし、実際に放課後や、いわゆる通級指導の空き時間等に、可能な範囲で通っていただいて、これまでも指導した例はございます。そういうことを踏まえまして、まずは例えばことばの教室設置校でこういうことについて相談できますよという、そういうようなことの啓発とかを各幼稚園等にすると。そういうものを、現在のある組織を活用して、充実に努めてまいりた</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
25	5	加川康子	<p>い」との答弁を頂いたが、この8年間の実績（相談、支援、通級指導、啓発活動）を伺う。 そして、それらの実績を踏まえ、改めて幼児ことばの教室設置について所見を伺う</p> <p>1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた学校教育におけるICT活用について (1) VUCA時代と言われる昨今で、連続的に変化する社会で自立して生きるために、文科省の答申（令和3年）にて提言された「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実は重要であり、その実現にICTの活用が必要となると理解している。そこで、現在、市内の学校教育におけるICT活用状況がどのようになっているのか伺う。とりわけ、オンライン授業について、いつでも実施できる状況にあるのか伺う</p> <p>2 ICT活用に向けた教員の習熟時間確保について (1) ICTを活用する上で、先生方の研さん、習得するための時間確保が必要であり、その時間の捻出には校務の効率化、働き方改革のさらなる推進が必要だと考えるが、教員の働き方改革への取組状況について伺う</p> <p>3 市ウェブサイトにおける教育委員会の情報発信について (1) 現在、各学校の教育目標は各校のウェブサイトを確認することができるが、教育委員会のウェブサイトには大崎市が目指す教育や教育長のメッセージの掲載はないように見える。「大崎市教育の振興に関する大綱」が大崎市の目指す教育を示しているが、保護者には分かりにくく、伝わりにくい状況にある。大崎市はどのような教育に取り組んでいるのか、今年度の教育委員会の重点項目は何かなど、ウェブサイトへ掲載し、保護者に伝わりやすい情報発信が求められていると考える。また、5月25日のマスク着用の運用変更に関するお知らせについて、変更した資料を掲載いただいているものの、検索しにくい状況にある。教育委員会から各学校等へ周知いただいた後、保護者に連絡が到達するには時差があるため、教育委員会からのより早く、分かりやすい発信が必要だと考えるが、教育委員会としてどのように考えるか、所見を伺う</p> <p>4 市ウェブサイトにおける子育て支援、教育等に関する情報発信について (1) 市のウェブサイトを確認すると、子育てと教育が別項目となっているが、保護者にとっては、同一線上にあるものと捉えている。子供たちに様々な体験を提供してくれる公民館の情報はウェブサイト上から検索ができず、「あることを知らない」情報が多数あると思われる。子育て、教育の情報をウェブサイト上で一元化することが望ましいと考えるが、市としてどのよ</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>うに考えるか、所見を伺う</p> <p>5 男女共同参画の取組状況について</p> <p>(1) 男女共同参画を推進する上で、無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）の解消が重要であり、様々な取組が行われているが、今後の取組、とりわけ地域自治組織等への取組をどのように考えているか、所見を伺う</p>	